

事務事業評価表(新規事業)

コード 2-1-3	事務事業名 議会棟屋上防水改修工事	所管部課 総務部管財課
--------------	----------------------	----------------

事務事業の概要	事務事業の目的 当面新庁舎を建設することなく、現在の田無庁舎、保谷庁舎を有効活用する方針に基づき、議会棟屋上防水改修工事を行う。	総合計画上の位置づけ 安全で快適なまち 庁舎整備 田無庁舎整備事業
	実施内容、実施方法 老朽化した田無庁舎議会棟の屋上を防水改修する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 18 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 防水面積	活動指標の考え方(定義) 田無庁舎の防水改修を実施する面積(庁舎全体面積2900㎡)
	成果指標名 進捗率	成果指標の考え方(定義) 雨漏り部分の改修整備の進行割合

事務事業データ (平年度・最終年度見込み)		単位	18年度	19年度	20年度	目標	18 年度
	事業費(A)		20,895	0	0		20,895
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		20,895				20,895
	所要人員(B)	人	0.02				0.02
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	167	0	0		167
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	21,062	0	0		21,062
単位当たりコスト (E)=(D)/(防水面積)	千円	12	0	0		12	
歳入	千円						
活動指標	m <sup>2</sup>	1,741				1,741	
活動指標							
成果指標	%	100				100	
成果指標							

事業環境	事務事業の課題・問題点	議会運営に支障をきたす。
	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-1-3	事務事業名 議会棟屋上防水改修工事	所管部課 総務部管財課
--------------	----------------------	----------------

事業所管部評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高 :法律等で市が実施すべきと定められている。市が主体的に実施すべき事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> 中 :行政による実施が義務付けられている。市が主体的に実施すべき事業かどうか検討する余地がある。 <input type="checkbox"/> 低 :市の実施が義務付けられておらず、国・都・民間・類似事業などで代替可能であるが、市民要望が強い。 理由: 議会棟につき議会運営に支障きたさないため。
	緊急性	<input type="checkbox"/> 高 :法律等により実施時期が定められている。または来年度実施しないと事業の意味が失われる。 <input checked="" type="checkbox"/> 中 :来年度の実施が強く求められている。 <input type="checkbox"/> 低 :実施時期を検討する余地がある。 理由: 田無庁舎の老朽化に伴い屋上から雨漏れの恐れがある。雨漏れが発生し「水のながれ道」ができた場合に防水改修が修理改修により、経費がかかる。また22年経過していることから実施時期である。
	有効性	<input type="checkbox"/> 高 :事業の目的を達成するために必要不可欠である。 <input checked="" type="checkbox"/> 中 :事業の目的を達成するために有効である。他の手段・方法を検討する余地はある。 <input type="checkbox"/> 低 :事業の目的を達成するために有効とはいえないが、現状では他の手段・方法がない。 理由: 雨漏り被害がなくなる。
	効率性	<input type="checkbox"/> 高 :投入経費等に見合う実績・成果をあげることが十分に想定される。 <input checked="" type="checkbox"/> 中 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられる見込みである。 <input type="checkbox"/> 低 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられるとは限らないが代替手段がない。 理由: 当面、庁舎の有効活用ができる。

事業目標達成時の展望(所管部)	事業実施プラン(事業の展開内容、事業費の内訳、所要人員の考え方、その他)
	平成18年度において、田無庁舎議会棟屋上にウレタン防水塗装をして、雨漏りしないように未然に対策する。具体的な作業期間はおよそ3ヶ月である。現在の予定としては、7月から実施したいと考えている。など 事業費20,895千円の内訳としては、工事委託料(工事内容は議会棟屋上部分に環境対応塗膜防水)である、 所要人員の考え方は、この事務の大半が委託となるため、職員1名が年間のうち数日係われれば良いものである ので、0.02人としている。 屋上にヒビが入り、雨漏りをしてしまったからではこの何倍もの事業費がかかることとなるため、できるだけ早い時期での実施が必要と考える。また、雨漏りが生じる前に実施することで、何倍もの経費面での効果が期待できる。
	財源の確保(新規事業の実施に当たり、見直しを図る既存事業等) 全額一般財源となっており、非常に厳しい状況ではあるが、早期実施により高い効果が見込まれるものである。

行革本部評価	緊急性はやや低く、今後の財政状況や事業の優先度を勘案しつつ実施時期を検討する。
--------	---